

新たな観光産業振興のプラン策定に向けた論点

令和 8 年 8 月 21 日



これまでの議論

◆ 観光を取り巻く主要動向を踏まえ、**新たな観光産業振興プランの方向性**について議論した



観光資源の充実

- 食やアニメ等の著名な国際イベントを充実させていくことが必要
- ナイトタイム観光はコンテンツの充実を継続すべき
- 新技術を使った新しい時代の歴史観光が必要である
- 文化・エンタメ・テクノロジーなどを横断的に組み合わせて新たな価値を創出していくことが大切



多彩な魅力の発信

- SNSやAI活用により旅行者の行動様式は変化している
- ゲートウェイである東京に旅行者を集めて分散させていくべき
- 宿泊税を活用して、区市町村と連携した地域の魅力づくりを進めるのが大切
- 多摩・島しょ独自の歴史・文化、アクセス情報を発信するとよい



観光産業の競争力強化

- ロボットや情報機器等、事業者の新技術導入への支援が重要
- 観光産業の新しい働き方の実態を発信し、人材確保を進めるべき
- 地域をリードする観光人材の育成をすべき
- MICEは産業横断的政策ツールとして戦略的に活用すべき



快適な滞在環境づくり

- 観光地のインフラの整備・投資を進めていくべき
- サステナビリティやアクセシビリティの確保が重要
- 観光客によって地域が良くなるという発想や仕組みが必要
- 観光から得られる利益で社会的なサービスのレベルが上がることが都民の理解につながる





今回の主な論点



MICE誘致

東京の成長を牽引する産業の振興につながるMICE誘致について重点的に強化していくべきポイントは何か



エリアの特色を活かした 誘客

バイエリアや多摩・島しょなどの地域に旅行者を呼び込むためにどのような方策が効果的か



旅行者にも住民にも 快適な環境整備

旅行者と住民の双方にとって満足度が高く、メリットのある観光振興にどう取り組んでいくか



宿泊税の活用

観光振興を支える税として宿泊税に共感・納得をいただくためにどう活用し、その意義を伝えていくべきか



MICE誘致

◆ **開催都市としての東京の魅力**を発信するとともに、**主催者に対する支援**等様々な施策を展開している

国際会議の誘致・開催の推進

- 誘致活動や開催時に必要となる経費を支援
- 会議参加者に対して日本文化の体験プログラムや都内観光ツアーを提供



世界理学療法連盟学会2025
(2025年5月)

ユニークベニユの活用促進

- ユニークベニユ紹介サイトやイベント開催を通じ主催者へ魅力をPR
- ワンストップ窓口を設置し、イベント開催を検討している方と施設とをマッチング



すみだ水族館での新規事業発表会
(2025年10月)

デジタル技術の活用促進

- MICEで活用できる最新のテクノロジーを主催者や施設に対して紹介
- テクノロジーをMICEで活用する際に必要となる経費を支援



テクノロジーを体験できる
セミナー (2025年10月)

サステナブルな取組の推進

- サポートデスクを設置し、環境に配慮した取組を行う主催者を支援
- サステナビリティに配慮した取組のノウハウを発信するイベントを開催



主催者や施設等向けの
ショーケースイベント
(2025年11月)

今後は、**東京の成長を牽引する産業政策**としてもMICEを活用していく



エリアの特色を活かした誘客

◆ 外国人旅行者の訪問先は都心部が主で、**ベイエリアや多摩・島しょ地域への訪問には伸びしろがある**

外国人旅行者が訪問した場所

2023年

1位	渋谷	67.1%
2位	新宿・大久保	57.4%
3位	銀座	50.1%
⋮		
11位	お台場・東京湾	16.7%
17位	吉祥寺・三鷹	3.5%
18位	八王子・高尾山	2.6%
21位	伊豆諸島・小笠原諸島	1.2%

2024年

1位	渋谷	62.6%
2位	新宿・大久保	53.4%
3位	銀座	51.9%
⋮		
13位	お台場・東京湾	14.5%
17位	吉祥寺・三鷹	3.5%
18位	八王子・高尾山	3.1%
22位	伊豆諸島・小笠原諸島	1.1%

2025年

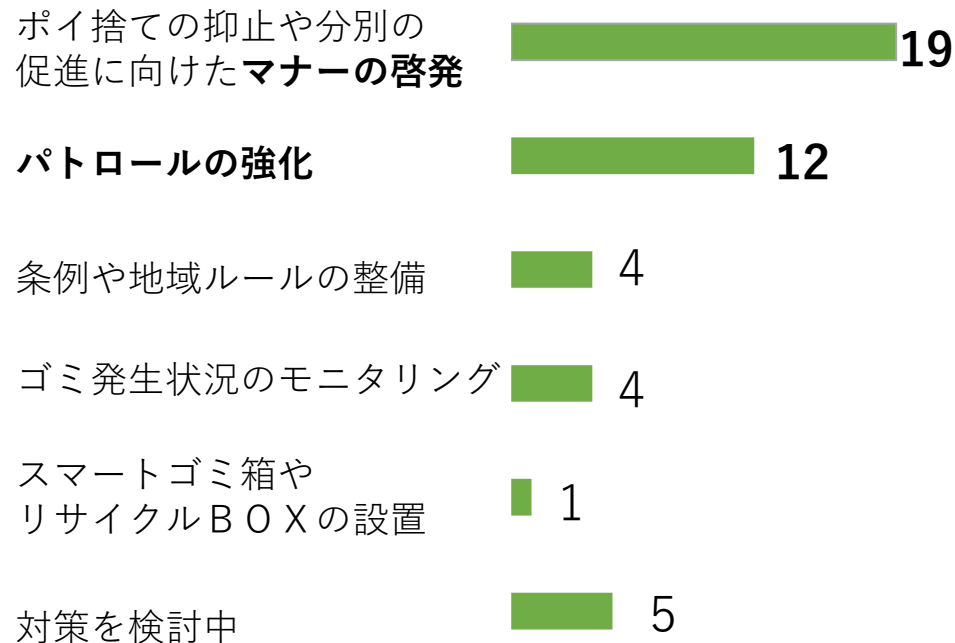
1位	渋谷	60.3%
2位	銀座	54.1%
3位	東京駅周辺・丸の内・日本橋	51.8%
⋮		
11位	お台場・東京湾	15.6%
18位	吉祥寺・三鷹	4.0%
19位	八王子・高尾山	3.2%
23位	伊豆諸島・小笠原諸島	1.3%



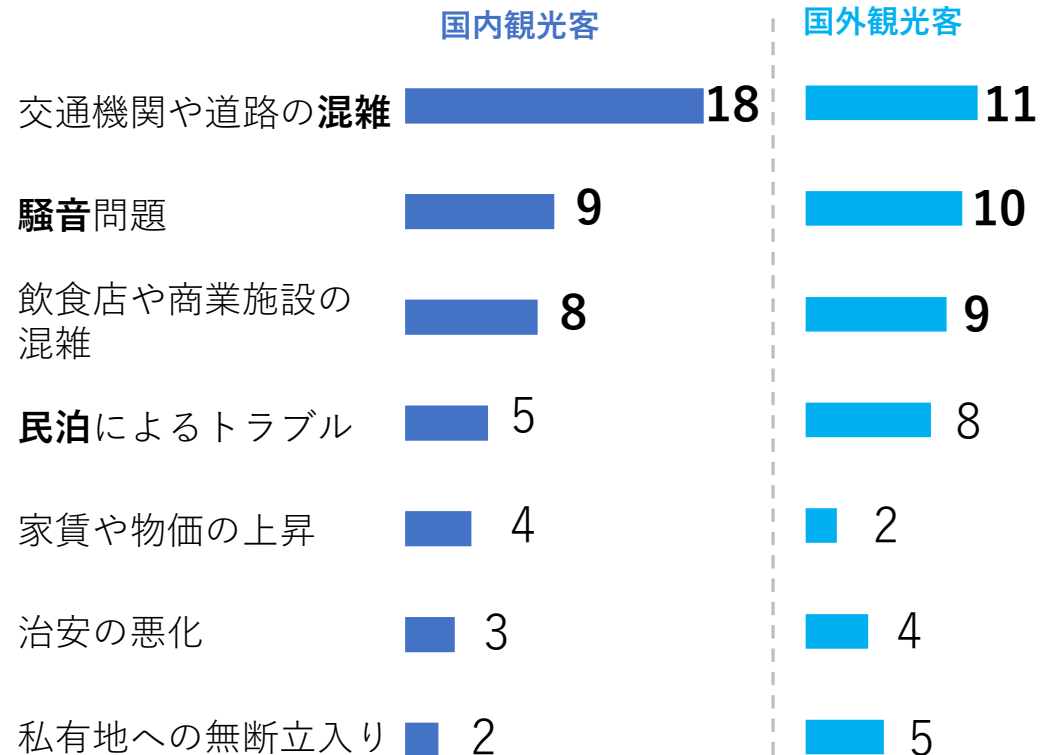
旅行者にも住民にも快適な環境整備

- ◆ 都内区市町村へのアンケートによれば、
観光客による**ゴミや混雑、騒音等の課題**が生じている地域もある

観光客によるゴミ問題への対応



観光客によって生じているゴミ以外の問題





宿泊税の活用

- ◆ 国際都市東京の魅力を高めるとともに、**観光の振興を図る施策に要する費用**に充てられる
- ◆ 令和8年度は、観光産業の振興に係る主要事業の経費376億円のうち81億円に充当
- ◆ 令和9年4月1日からの制度変更後は、**190億円程度の税収**が見込まれている

発信の方向性

- ・ 制度の仕組みを周知するばかりでなく、旅行者に共感・納得をいただくことが不可欠
- ・ 快適な滞在環境づくりや、観光資源の充実など東京の魅力を高める取組に宿泊税が活用されていることを伝えるのが大切
- ・ 旅行者と共に清潔で居心地が良く、誰もが楽しめる東京を育てていく、といった考え方を分かりやすいメッセージで発信していく（Tokyo, Building Together ―あなたとつくる東京― など）

活用する分野と充当額

令和8年度充当額：**81億円**

分野	充当額	充当事業例
観光と生活の調和に向けた取組	20億円	・ TOKYOクリーンアップムーブメント ・ 訪都旅行者への「ごみの持ち帰り」啓発事業 等
受入環境の充実	27億円	・ 観光関連事業者デジタルシフト応援事業 ・ 観光関連事業者による旅行者受入対応力強化支援事業 等
魅力を高める観光資源の開発	23億円	・ 多摩・島しょの新たな観光の魅力創出支援事業 ・ 東京の多様性を活かした観光まちづくり推進支援事業 等
人材の育成・活用	11億円	・ 観光ボランティアの活用 ・ 東京の観光への理解促進事業 等